

第7章 防災指針

第1節 防災指針検討の流れ

防災指針の検討の流れについては、以下のとおりです。

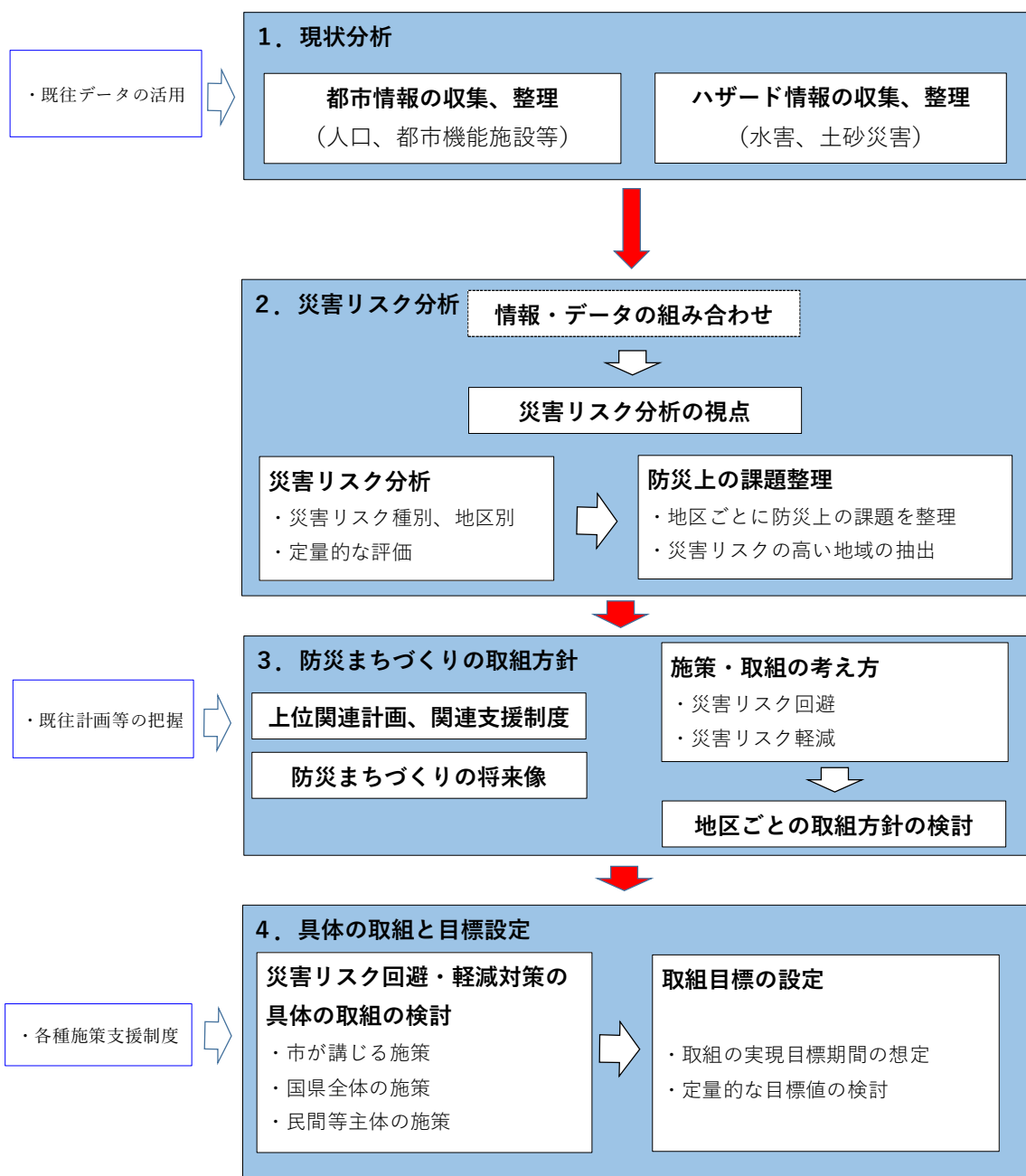


図 56 防災指針検討の流れ

第2節 現状分析

1. 都市情報の収集、整理

(1) 防災機能

市の指定避難所等は以下のとおりです。

表19 指定緊急避難場所

No.	地区名	施設・場所名	所在地	指定緊急避難場所 (異常な現象の種類)				
				洪水	土砂災害	高潮	地震	津波
1	中村	■中村第一小学校	中村字大手先1	○			○	
2	中村	■桜丘小学校	中村字桜ヶ丘179	○			○	
3	中村	■中村第一中学校	中村字本町132-1	○			○	
4	中村	■向陽中学校	中野字桜町76	○			○	
5	中村	■相馬高等学校	中村字大手先57-1	○			○	
6	中村	■相馬総合高等学校	北飯渕字阿弥陀堂200	○		○	○	
7	中村	■スポーツアリーナそうま	中村字北町55-1	○			○	
8	中村	■総合福祉センター	小泉字高池357	○			○	
9	中村	坪ヶ迫団地集会所	新沼字坪ヶ迫1-1	○			○	
10	中村	小泉集会所	小泉字高池736-1	○			○	
11	中村	相馬愛育園	中野字清水172-2	○			○	
12	中村	新沼コミュニティセンター	新沼字観音前270-1	○			○	
13	中村	刈敷田集会所	新沼字刈敷田14-13	○			○	
14	中村	中野防災集会所	中野字北反町141	○			○	
15	中村	馬陵公園	中村字北町地内	○			○	
16	中村	前沢目公園	中村字泉町3	○			○	
17	中村	桜ヶ丘東公園	中村字桜ヶ丘30	○			○	
18	中村	川沼西公園	中村字川沼306	○			○	
19	中村	桜ヶ丘公園	中村字桜ヶ丘154	○			○	
20	中村	高池前公園	中村字高池前44	○			○	
21	中村	新町緑地	中村字新町185-1	○			○	
22	中村	坪ヶ迫東公園	新沼字一反田220	○			○	
23	中村	刈敷田東公園	新沼字刈敷田19-3	○			○	
24	中村	塚ノ町緑地公園	塚ノ町一丁目3-1	○			○	
25	中村	沖ノ内公園	沖ノ内二丁目6-1	○			○	
26	中村	北飯渕公園	北飯渕二丁目11-1	○			○	
27	中村	角田公園	北飯渕一丁目15-1	○			○	
28	中村	坪ヶ迫ちびっこ広場	新沼字坪ヶ迫1-1	○			○	
29	中村	川沼集会所	中村字川沼151	○			○	
30	東部	■中村第二小学校	尾浜字細田1	○		○	○	○
31	東部	■中村第二中学校	和田字北迫185-13	○		○	○	○
32	東部	細田公会堂	尾浜字札ノ沢1-5	○		○	○	
33	東部	■東部公民館	原釜字北高野56-1	○		○	○	○
34	東部	松川防災集会所	尾浜字高塚214-7	○		○	○	
35	東部	原釜防災集会所	原釜字大津241-5	○		○	○	
36	東部	相馬市復興交流支援センター	光陽三丁目3-1	○		○	○	
37	東部	高平公園	尾浜字高塚217	○			○	

No.	地区名	施設・場所名	所在地	指定緊急避難場所 (異常な現象の種類)				
				洪水	土砂災害	高潮	地震	津波
38	東部	南ノ入集会所	尾浜字南ノ入4-21	○		○	○	○
39	大野	■相馬看護専門学校	石上字南蛭沢344	○		○	○	○
40	大野	■大野小学校	大坪字東畑7	○			○	
41	大野	小野多目的集会所	小野字薬師堂35	○			○	
42	大野	大野公民館	石上字みさご沢326	○			○	
43	大野	大野台公園	大野台一丁目1-15	○			○	
44	大野	石上多目的集会所	石上字寺前56	○			○	
45	大野	椎木多目的集会所	椎木字北原443	○			○	
46	飯豊	■飯豊小学校	大曲字天神前42	○		○	○	
47	飯豊	飯豊公民館	程田字明神前142-4	○		○	○	
48	飯豊	新田防災集会所	新田字梅川120-2	○			○	
49	飯豊	岩子防災集会所	岩子字数馬206-3	○			○	
50	飯豊	南飯渕防災集会所	南飯渕字成南76-1	○		○	○	
51	飯豊	長命寺	岩子字大迫287	○	○	○	○	○
52	八幡	■八幡小学校	坪田字清水前9-3	○			○	
53	八幡	八幡公民館	坪田字北田68	○			○	
54	山上	■山上小学校	山上字柳下32-2	○	○		○	
55	山上	老人憩いの家	山上字尖森27-1	○	○		○	
56	山上	山上公民館	山上字上ノ台1-1	○			○	
57	大野	山上多目的集会所	山上字尖森14-2	○	○		○	
58	日立木	■日立木小学校	日下石字明神前14	○			○	
59	日立木	日立木公民館	日下石字高根沢31	○			○	
60	日立木	道の駅そうま体験実習館	立谷字立谷467	○			○	
61	日立木	日下石防災集会所	日下石字堂田436	○			○	
62	磯部	■磯部小学校	磯部字上ノ台467-2	○		○	○	○
63	磯部	■磯部中学校	磯部字狐穴647	○		○	○	○
64	磯部	■磯部コミュニティセンター	磯部字狐穴647-4	○		○	○	○
65	磯部	立切防災集会所	蒲庭字館前23-1	○			○	
66	磯部	獺庭防災集会所	蒲庭字獺庭91-3	○			○	
67	磯部	台畑防災集会所	磯部字台畑29-2	○		○	○	○

※■印は、「指定避難所」との重複施設を表す。

※相馬市地域防災計画より作成

表20 指定避難所

No.	地区名	施設・場所名	所在地	想定収容人数※
1	中村	中村第一小学校	中村字大手先1	280
2	中村	桜丘小学校	中村字桜ヶ丘179	250
3	中村	中村第一中学校	中村字本町132	540
4	中村	向陽中学校	中野字桜町76	520
5	中村	相馬高等学校	中村字大手先57-1	590
6	中村	相馬総合高等学校	北飯渕字阿弥陀堂200	790
7	中村	スポーツアリーナそうま	中村字北町55-1	710
8	中村	総合福祉センター	小泉字高池357	530
9	東部	中村第二小学校	尾浜字細田1	520
10	東部	中村第二中学校	和田字北迫185-13	480
11	東部	東部公民館	原釜字北高野56-1	100
12	大野	大野小学校	大坪字東畑7	280
13	大野	相馬看護専門学校	石上字南姥沢344	420
14	飯豊	飯豊小学校	大曲字天神前42	240
15	八幡	八幡小学校	坪田字清水前9-3	200
16	山上	山上小学校	山上字柳下32-2	170
17	日立木	日立木小学校	日下石字明神前14	200
18	磯部	磯部小学校	磯部字上ノ台467-2	260
19	磯部	磯部中学校	磯部字狐穴647	320
20	磯部	磯部コミュニティセンター	磯部字狐穴647-4	80

※各小中学校については、体育館の想定収容人数を表す。

※相馬市地域防災計画より作成

表21 福祉避難所

No.	施設・場所名	所在地	想定収容人数
1	中村第一小学校	中村字大手先1	100
2	災害市営住宅馬場野山田団地1号棟（井戸端長屋）	馬場野字山田61-6	10
3	災害市営住宅馬場野山田団地2号棟（井戸端長屋）	馬場野字山田61-6	10
4	災害市営住宅細田東団地（井戸端長屋）	尾浜字細田406-66	10
5	災害市営住宅狐穴団地（井戸端長屋）	磯部字狐穴647-3	10
6	災害市営住宅南戸崎団地（井戸端長屋）	原釜字南戸崎64-1	10
7	相馬市保健センター	中村字大手先44-3	30
8	相馬中央病院	沖ノ内三丁目5-18	10
9	ベテランズサークル	小泉字高池319-1	15
10	総合福祉センター	小泉字高池357	30
11	特別養護老人ホーム相馬ホーム	小泉字高池718	10
12	ふきのとう苑	富沢字松道19	6
13	介護老人保健施設森の都	柚木字大関70-1	10

※相馬市地域防災計画より作成

表 22 津波時の一時避難場所

No.	該当地区	避難場所	所在地	備 考
1	原釜地区	津神社付近高台（大津）	原釜字大津239	緊急時は記載以外 の高台も避難場所 とする
2	尾浜地区	川口稲荷神社付近高台	尾浜字追川165-12	
3	尾浜地区	船越・夕顔観音付近高台	尾浜字船越169	
4	尾浜地区	高平公園	尾浜字高塚217	
5	松川地区	鵜ノ尾岬灯台付近高台	尾浜字松川175-2	
6	岩子地区	塩釜神社付近高台	岩子字宝迫122	
7	磯部地区	磯部小学校付近高台	磯部字上ノ台467-2	

※相馬市地域防災計画より作成

表 23 防災拠点

No.	施設名称	所在地
1	相馬市役所	中村字北町63-3
2	相馬市防災備蓄倉庫	坪田字宮東25

※相馬市地域防災計画より作成

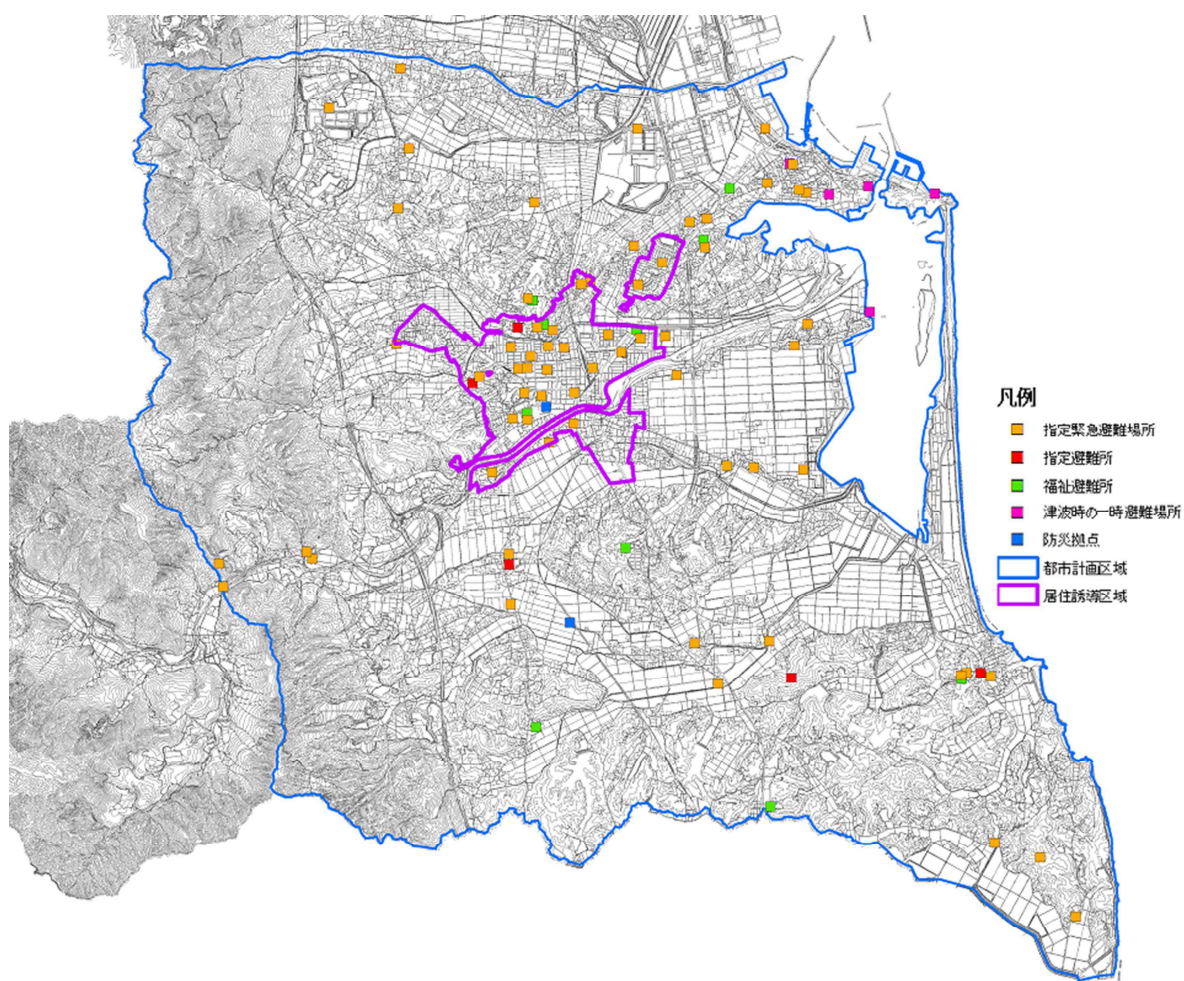


図 57 指定避難所・防災拠点等分布状況

(2) 大規模盛土造成地

本市の用途地域周辺の大規模盛土造成地は、以下のとおりです。

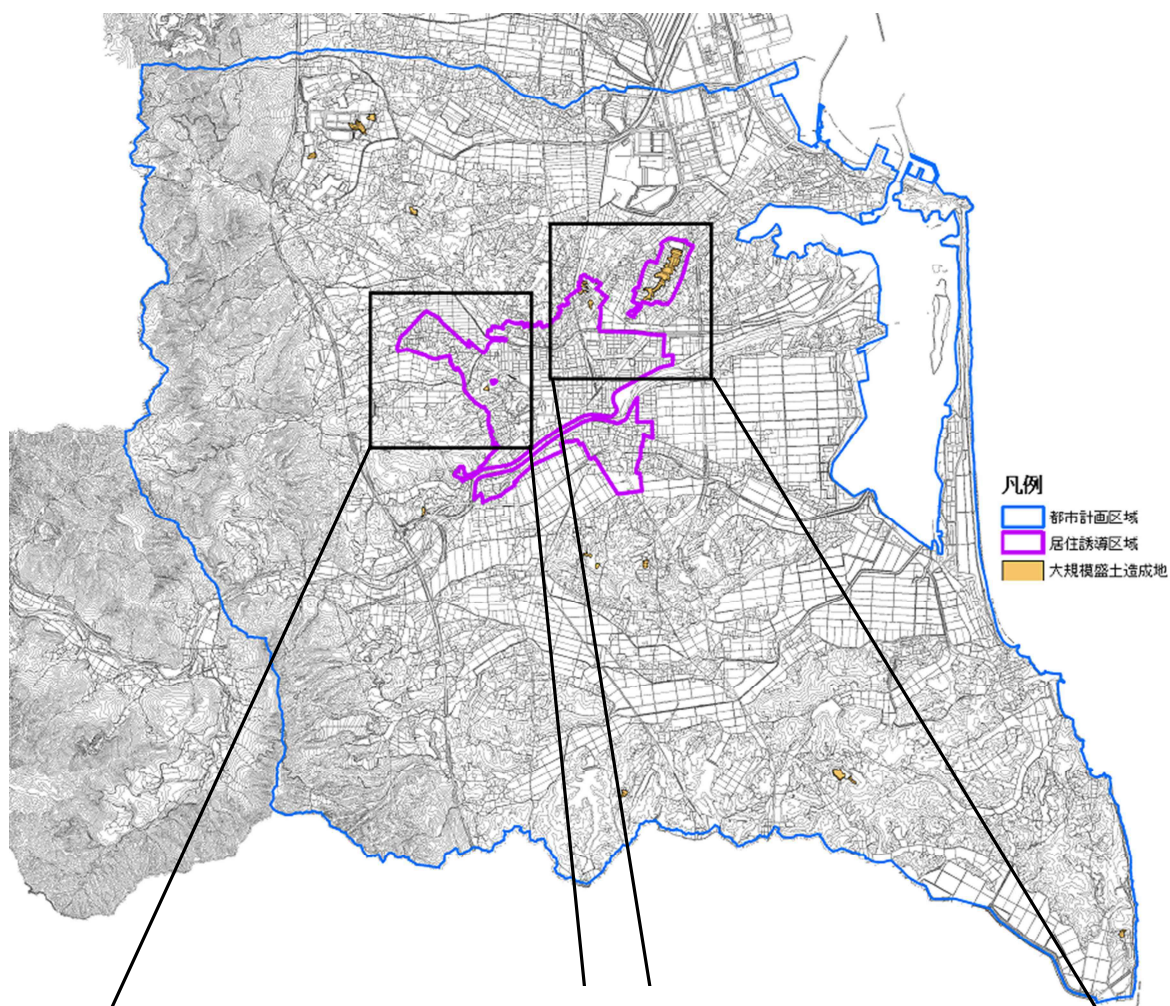


図 58 大規模盛土造成地の位置（広域）

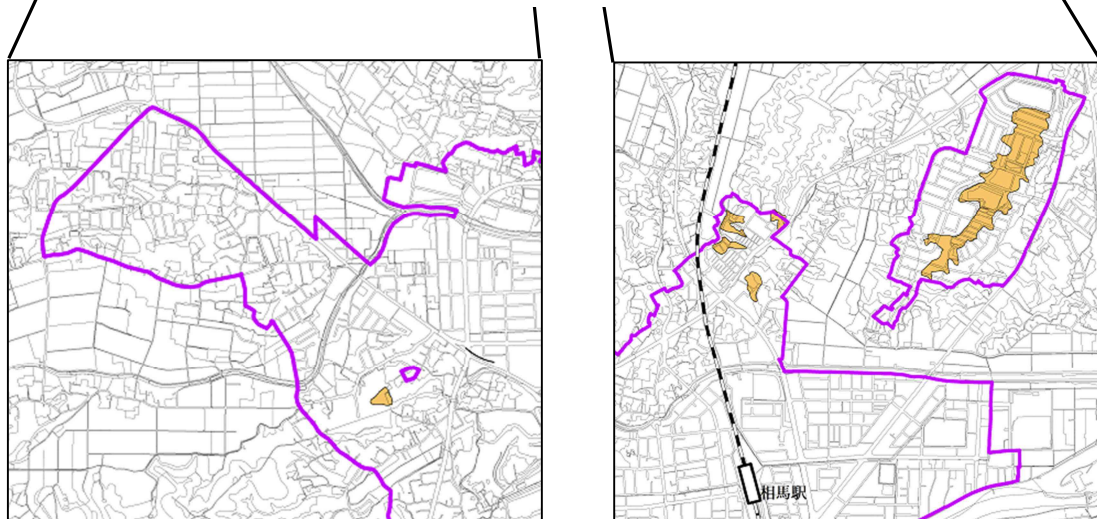


図 59 大規模盛土造成地の位置（詳細）

2. 災害ハザード情報

本市の災害ハザード情報は以下のとおりです。

表 24 収集した災害ハザード情報

種別	ハザード情報		備考
浸水被害	小泉川、宇多川 洪水 浸水想定区域	計画規模（L 1）	数10年～数100年に1度程度の規模の大雨で河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域
		想定最大規模（L 2）	1000年に1度程度の降雨量を上回る規模の大雨で河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域
	津波 浸水想定区域		津波が発生した場合、浸水が想定される区域
土砂災害	土砂災害警戒区域		がけ崩れ等が発生した場合に、住民等の生命または身体に、危害が生じるおそれがあると認められる区域
	土砂災害特別警戒区域		がけ崩れ等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域

(1) 小泉川・宇多川 洪水 浸水想定区域（計画規模）

小泉川・宇多川が氾濫した場合の洪水浸水想定区域（計画規模）となります。

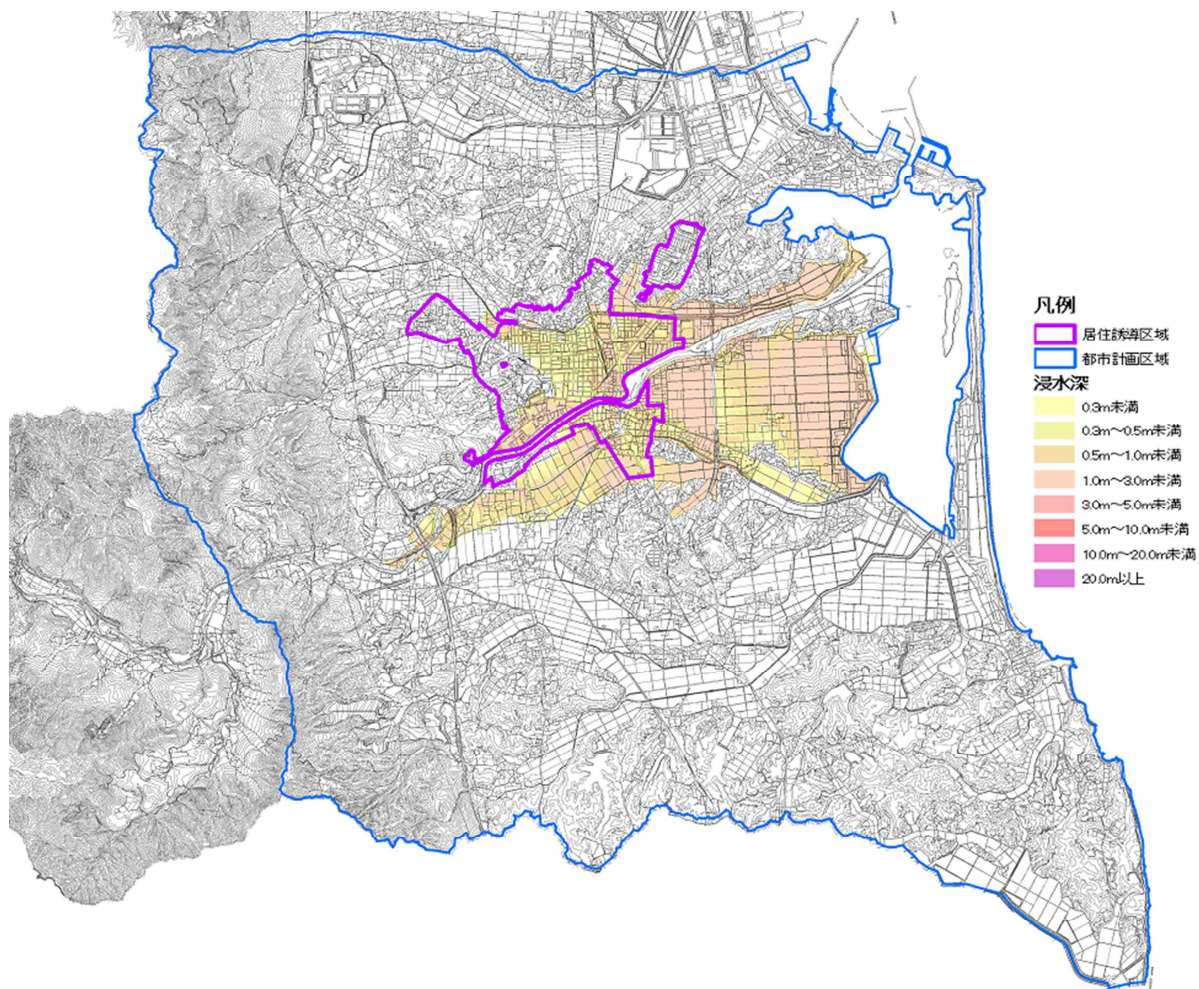


図 60 小泉川・宇多川 洪水 浸水想定区域（計画規模）（広域）

居住誘導区域内では、浸水深 1.0m 未満、1.0m～3.0m 未満を中心とした洪水浸水想定区域が指定されています。

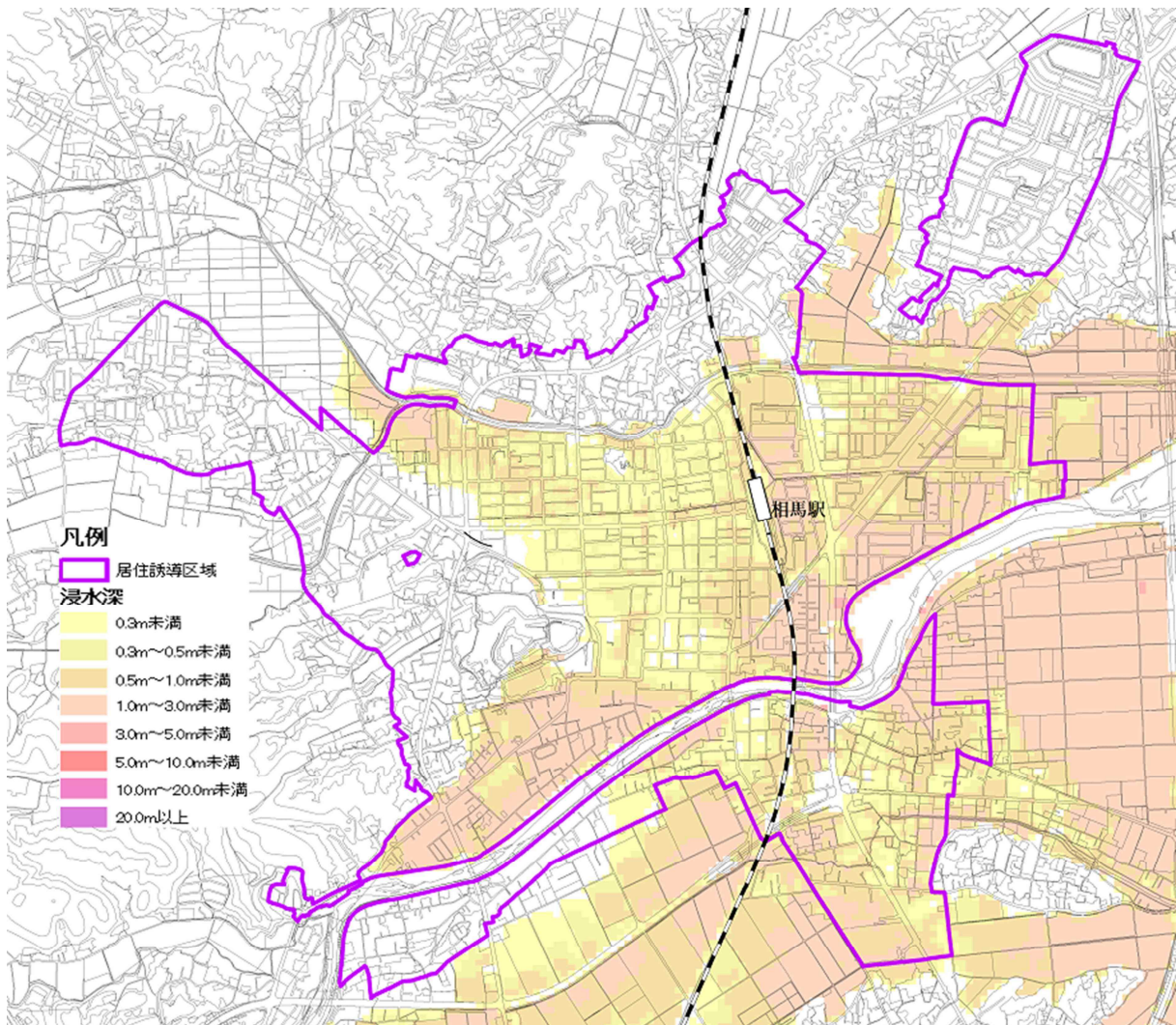


図 61 小泉川・宇多川 洪水 浸水想定区域（計画規模）（詳細）

(2) 小泉川・宇多川 洪水 浸水想定区域（想定最大規模）

小泉川・宇多川が氾濫した場合の洪水浸水想定区域（想定最大規模）となります。

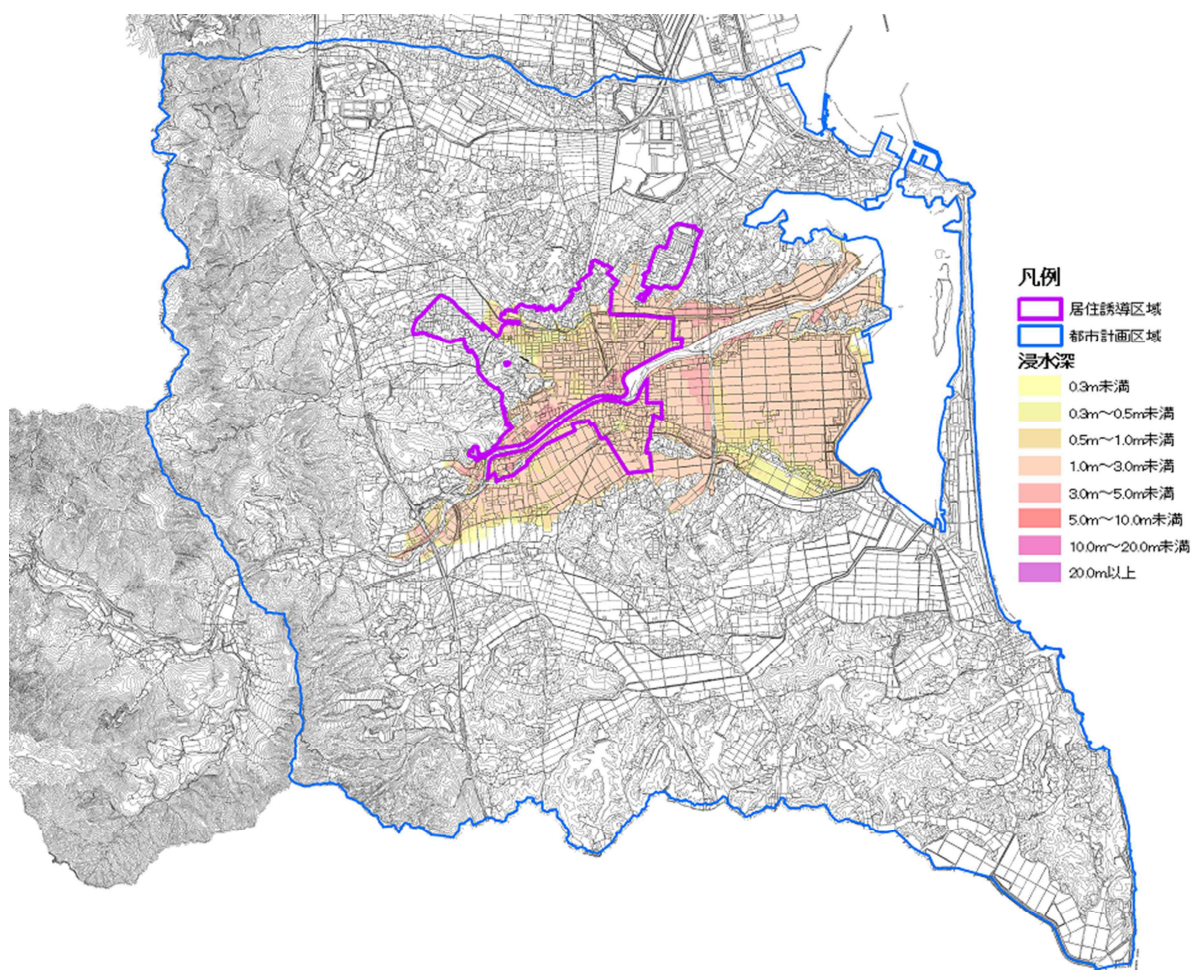


図 62 小泉川・宇多川 洪水 浸水想定区域（想定最大規模）（広域）

居住誘導区域内では、浸水深 1.0m～3.0m未満を中心とした洪水浸水想定区域が指定されています。一部、3.0m以上の浸水が想定される区域もありますが、その区域については、「第4節 防災まちづくりの将来像、取組方針」にて、浸水対策を講じています。浸水リスクはありますが、安全な避難が可能である上、河川改修が進捗しており、浸水が低減される見込みであることから、土地利用の連続性を考慮し、居住誘導区域に含めることとします。

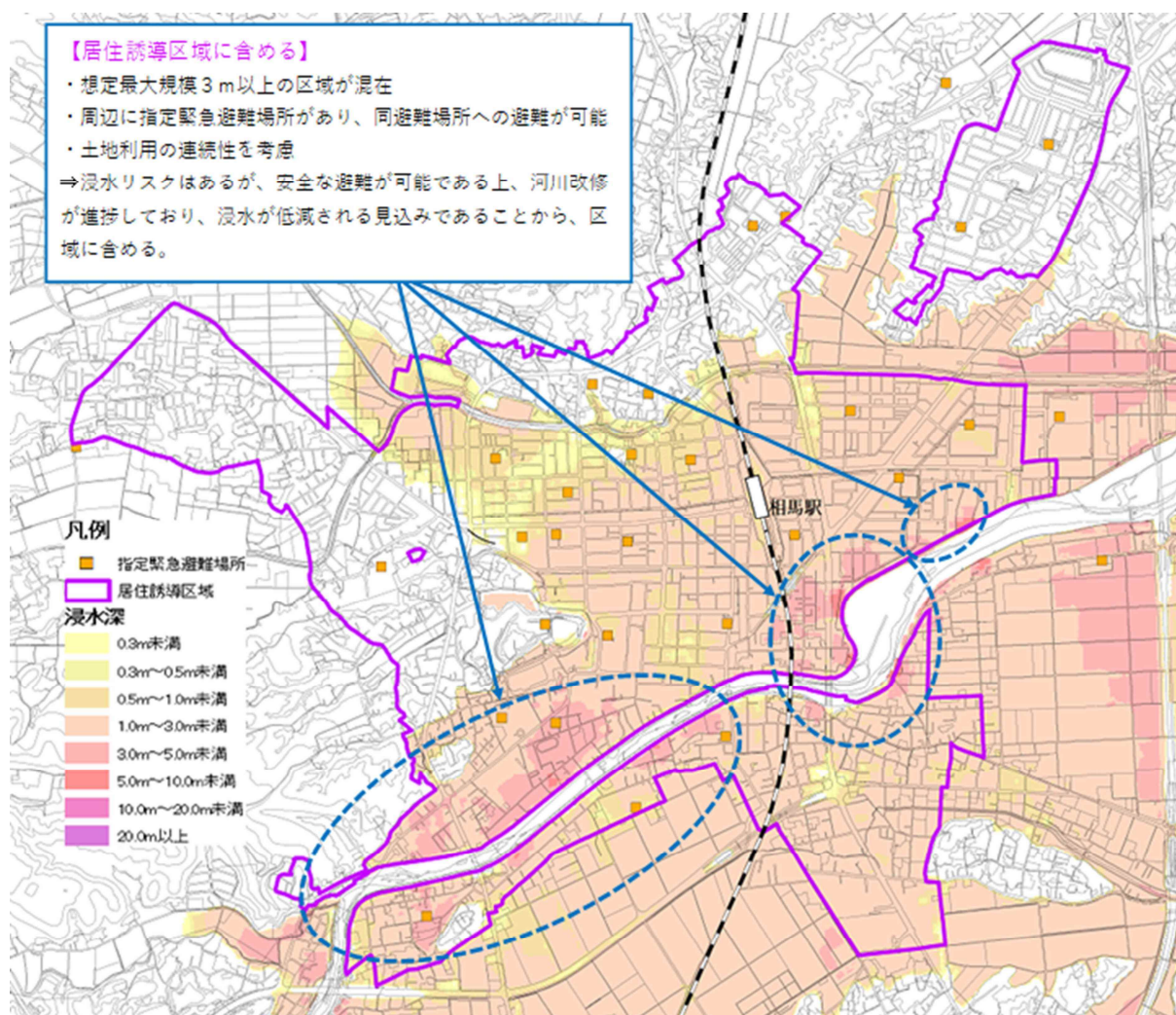


図 63 小泉川・宇多川 洪水 浸水想定区域（想定最大規模）（詳細）

(3) 津波 浸水想定区域

津波が発生した場合の浸水想定区域は、以下のとおりです。一部、居住誘導区域内にも想定されています。

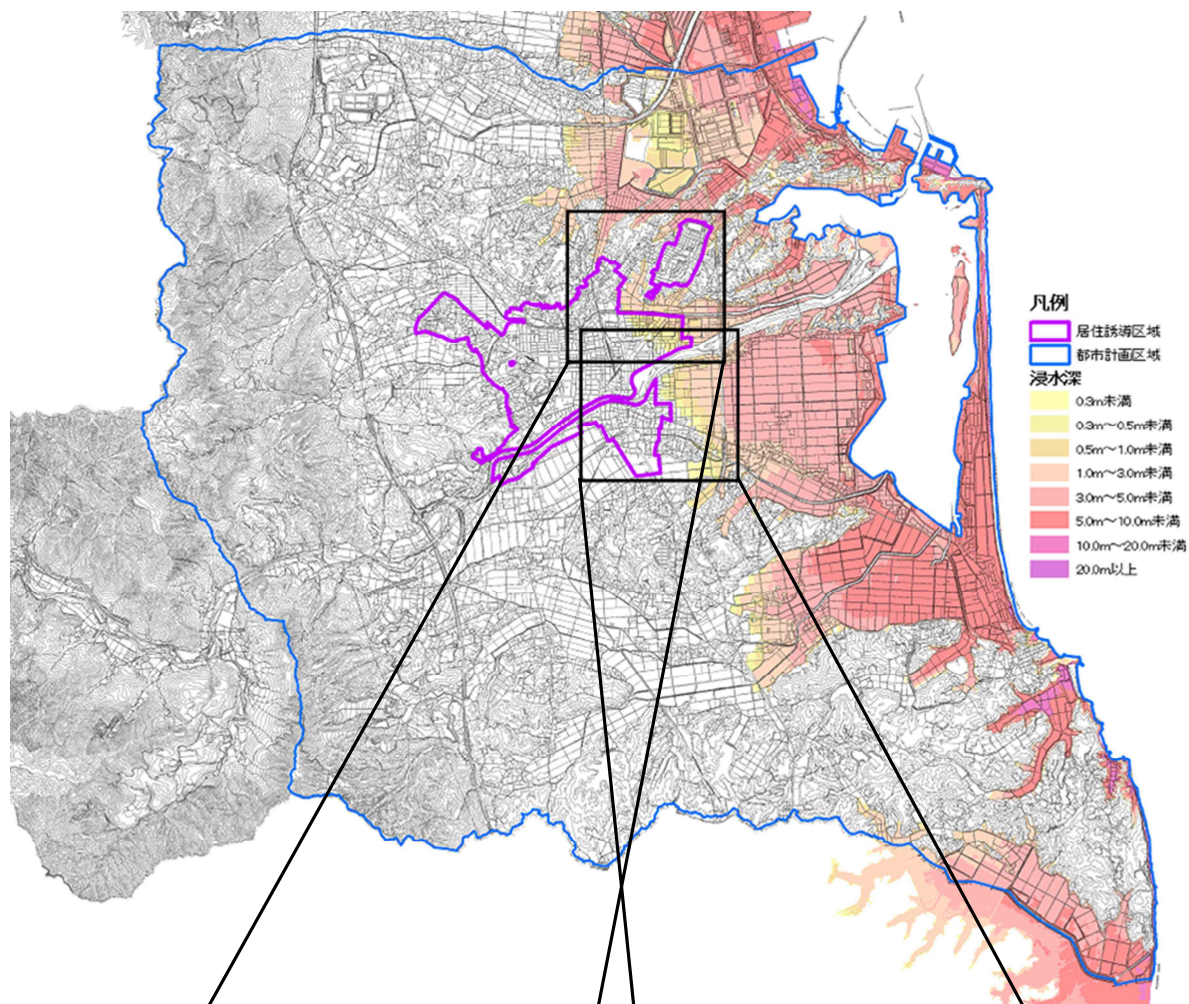


図 64 津波 浸水想定区域 (広域)

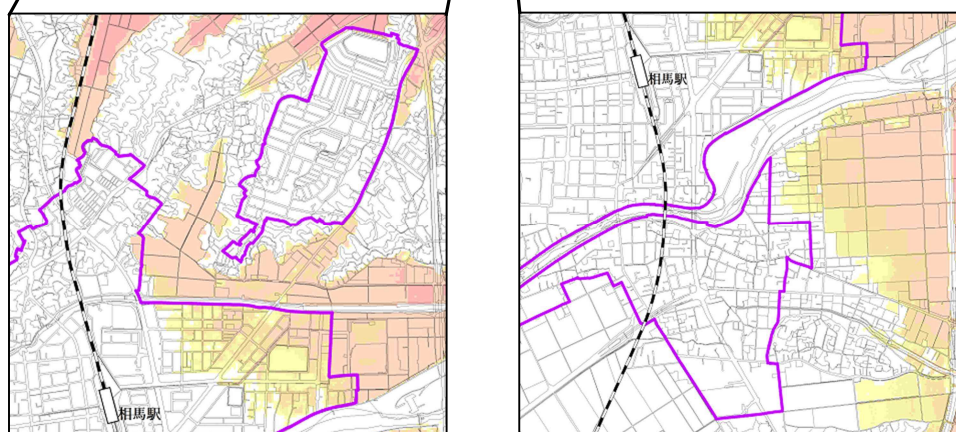


図 65 津波 浸水想定区域 (詳細)

（4）土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域

土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域は、都市計画区域内外に指定されています。

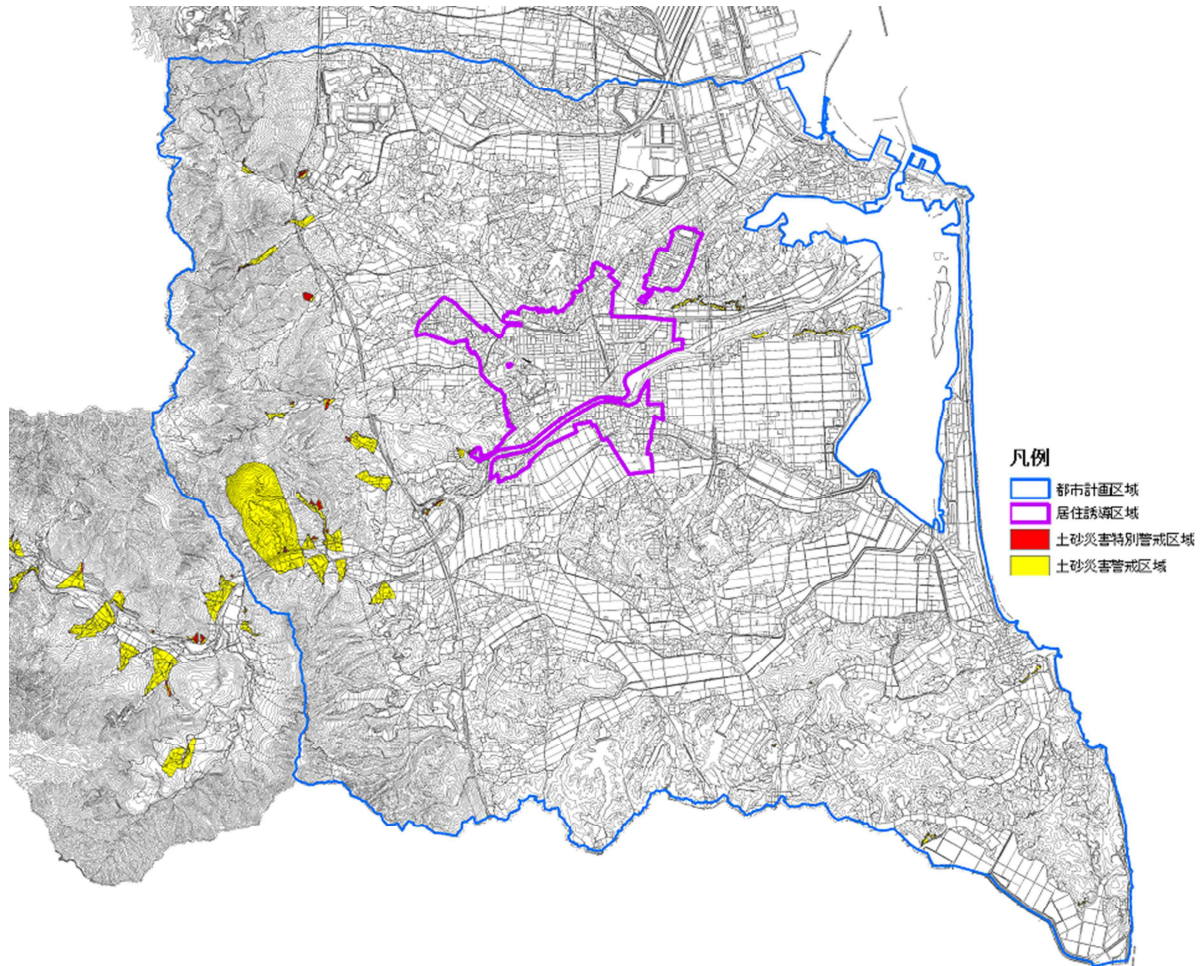


図 66 土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域

第3節 災害リスク分析

1. 災害リスク分析の視点

災害ハザード情報に人口や建物の分布状況を重ね合わせて、様々なパターンのリスク分析を行います。

表 25 重ねる情報

No	ハザード情報	重ねる情報	分析の視点
(1)	小泉川・宇多川 洪水 浸水想定区域 (想定最大規模)	小地域人口総数 (令和2(2020)年国勢調査)	浸水のおそれがある居住地分析
(2)	小泉川・宇多川 洪水 浸水想定区域 (想定最大規模)	都市機能施設	浸水のおそれがある施設分析
(3)	津波 浸水想定区域	小地域人口総数 (令和2(2020)年国勢調査)	津波浸水のおそれがある居住地分析
(4)	津波 浸水想定区域	都市機能施設	津波浸水のおそれがある施設分析
(5)	土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域	都市機能施設	土砂災害による被害のおそれがある施設分析
(6)	大規模盛土造成地	居住誘導区域	土砂災害による被害のおそれがある盛土造成地分析

(1) 小泉川・宇多川 洪水 浸水想定区域（想定最大規模）×人口総数

小泉川・宇多川の氾濫による洪水浸水想定区域と令和2（2020）年国勢調査の小地域人口総数を以下に示します。

浸水の状況によっては、人口が多いエリアでの浸水が懸念されます。

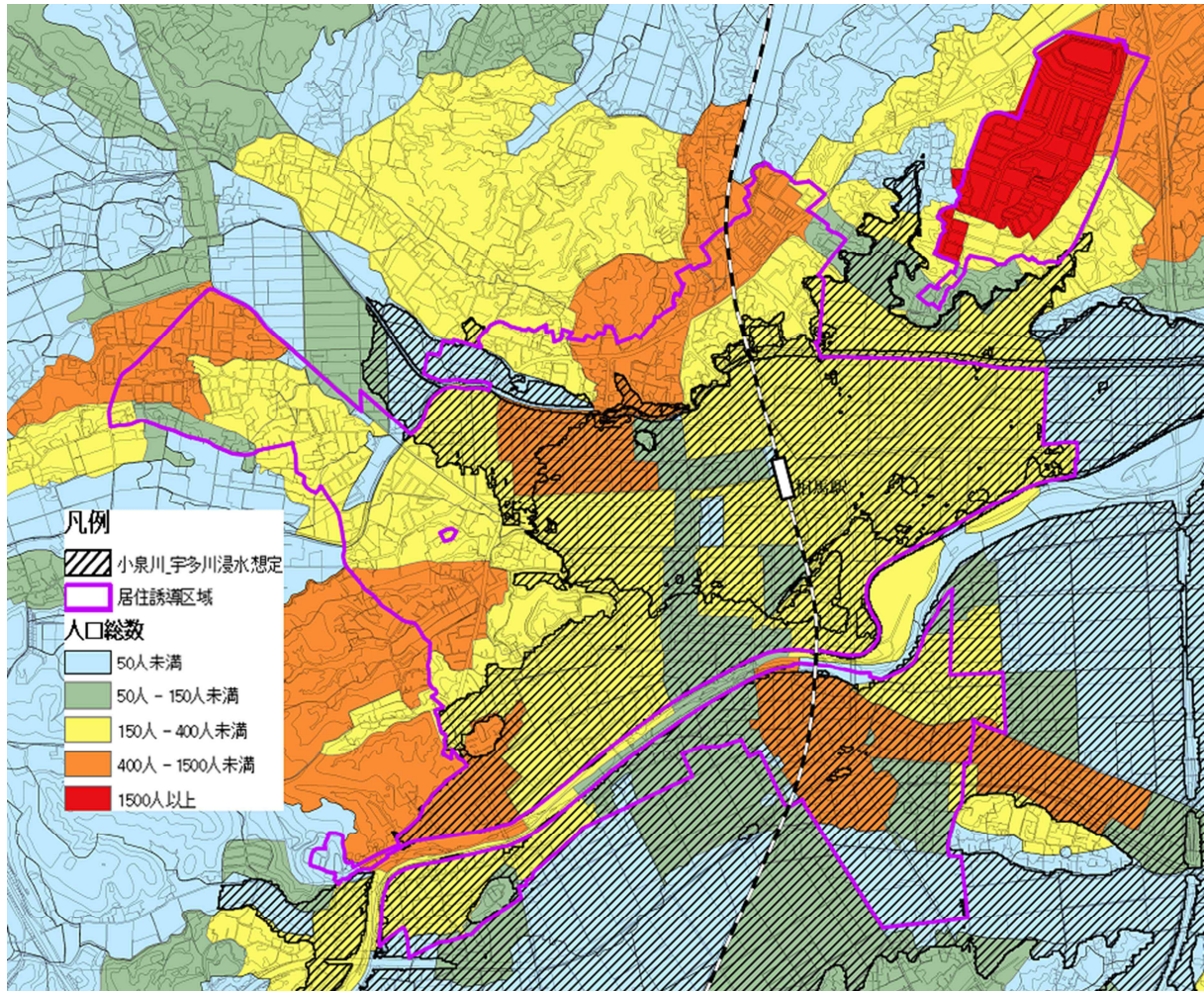


図 67 小泉川・宇多川氾濫による洪水浸水想定区域と人口総数

(2) 小泉川・宇多川

洪水 浸水想定区域（想定最大規模）× 都市機能施設

小泉川・宇多川の氾濫による洪水浸水想定区域と都市機能施設の分布状況を以下に示します。

商業施設、医療施設が集積しているエリアにおいても浸水の状況によっては、避難が困難になることが懸念されます。

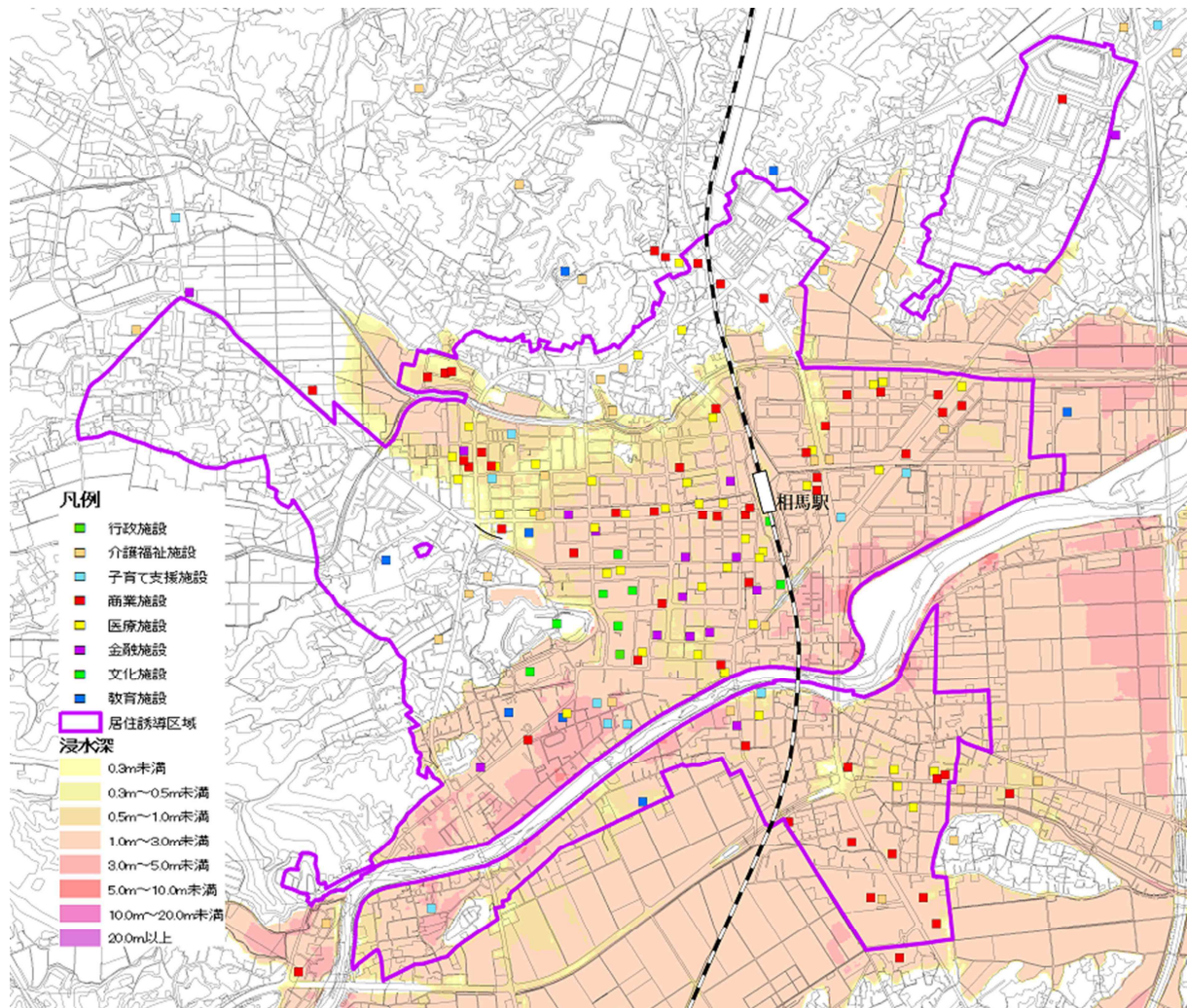


図 68 小泉川・宇多川氾濫による洪水浸水想定区域と都市機能施設

（3）津波 浸水想定区域 × 人口総数

津波による浸水想定区域と令和2（2020）年国勢調査の小地域人口総数を以下に示します。

浸水の状況によっては、人口が多いエリアへの浸水が懸念されます。

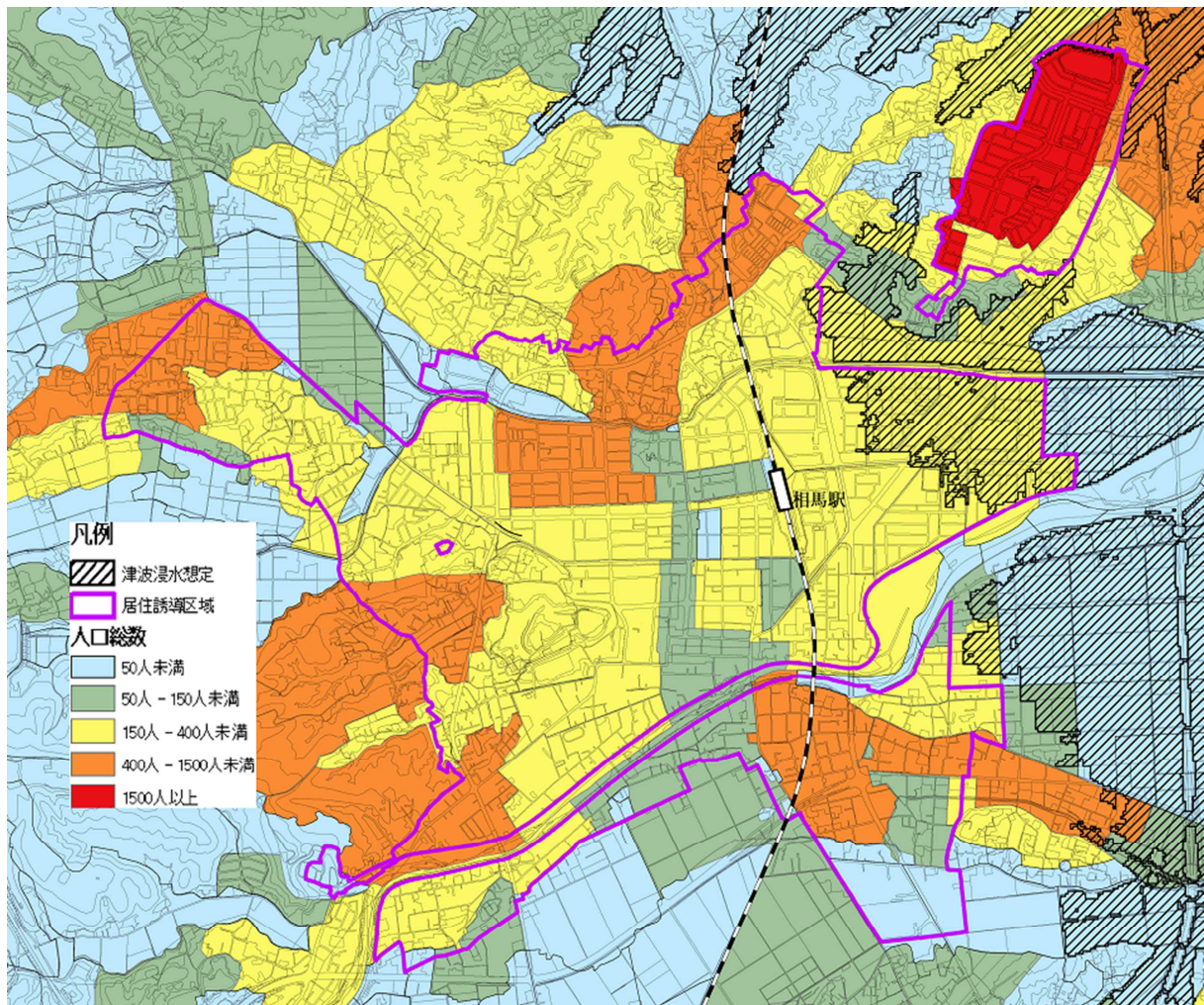


図 69 津波浸水想定区域と人口総数

（４）津波 浸水想定区域 × 都市機能施設

津波による浸水想定区域と都市機能施設の分布状況を以下に示します。

商業施設、医療施設が集積しているエリアにおいても浸水の状況によっては、避難が困難になることが懸念されます。

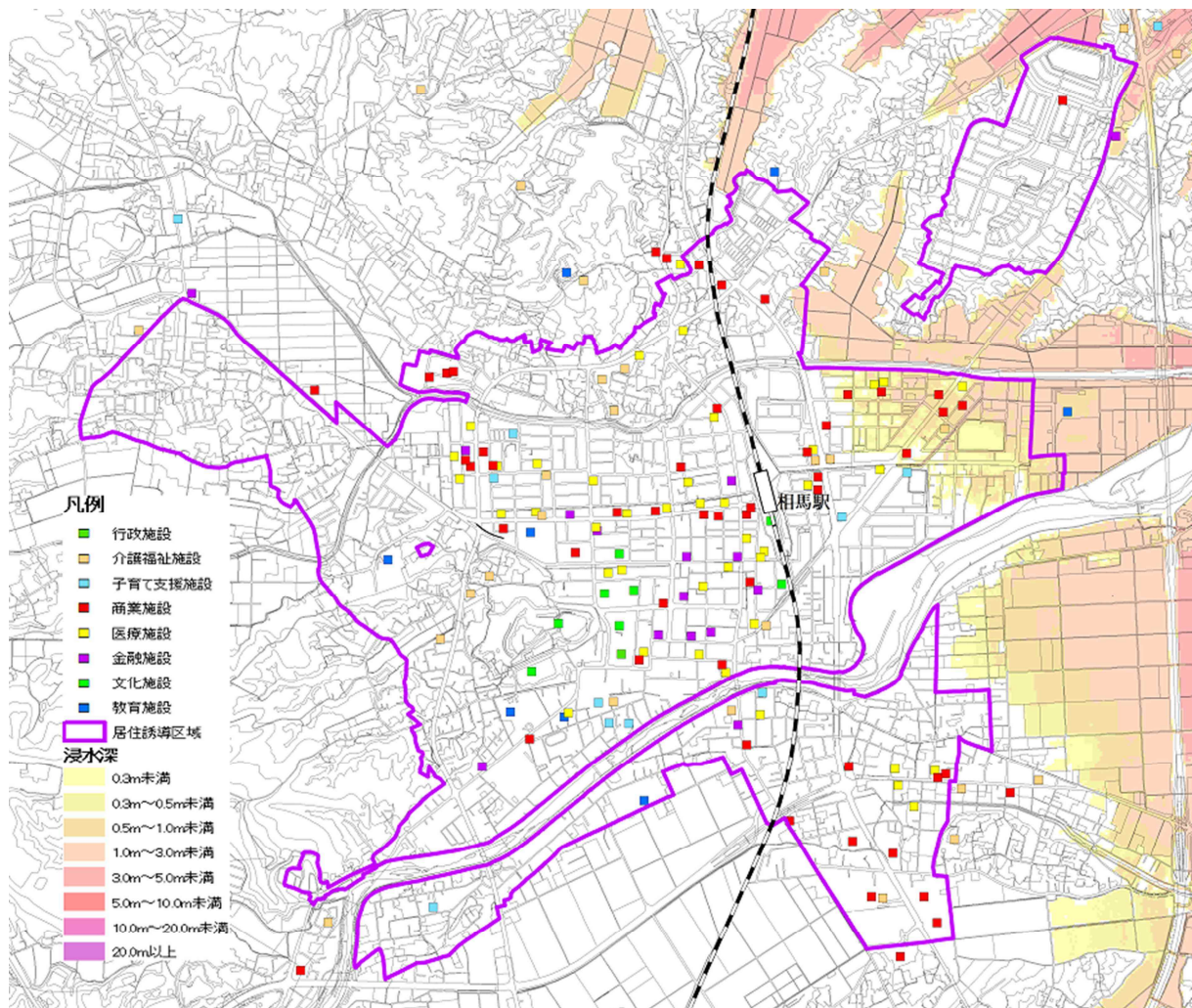


図 70 津波浸水想定区域と都市機能施設

(5) 土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域 × 都市機能施設

土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域と都市機能施設の分布状況を以下に示します。

居住誘導区域内には土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域はありません。

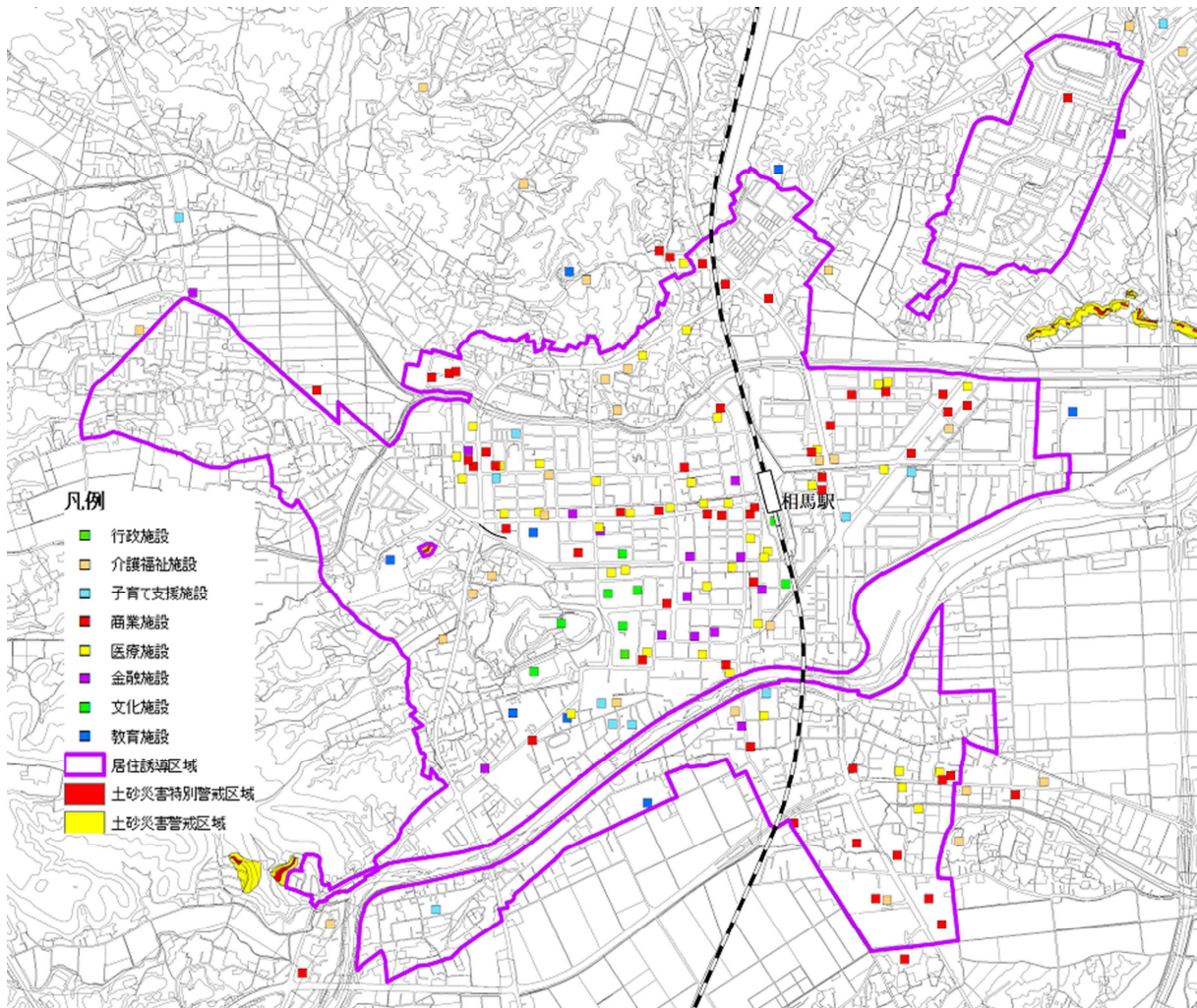


図 71 土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域と都市機能施設

（6）大規模盛土造成地 × 居住誘導区域

居住誘導区域内の大規模盛土造成地を以下に示します。

居住誘導区域内には、6箇所の大規模盛土造成地が存在しており、安全性の確認に向けた取組を行っています。

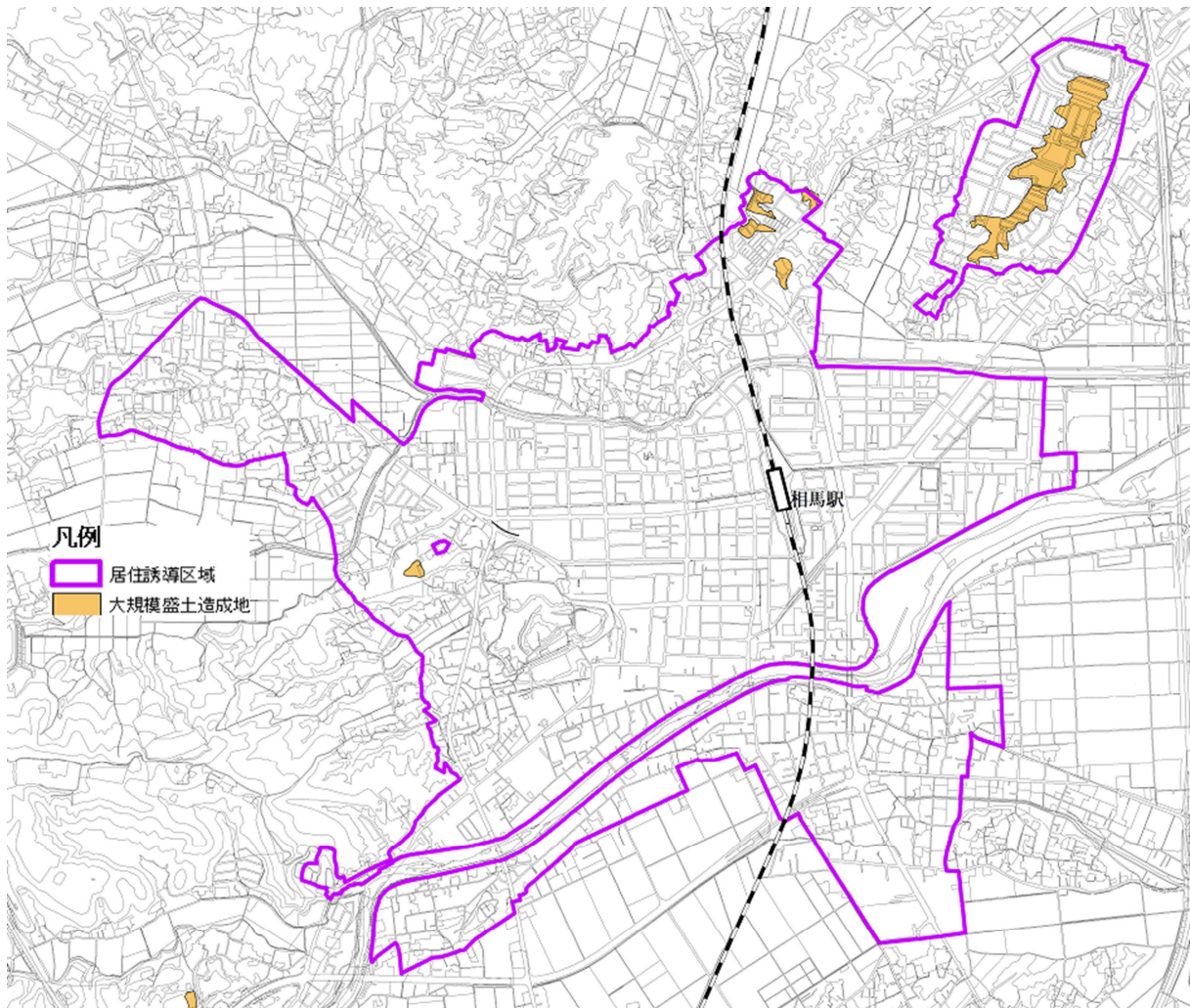


図 72 大規模盛土造成地と居住誘導区域

2. 防災上の課題の整理

災害ハザード情報や災害リスクの分析により、防災上の課題を整理します。

小泉川・宇多川の氾濫による洪水浸水想定区域（想定最大規模）を対象として、防災上の課題を整理します。

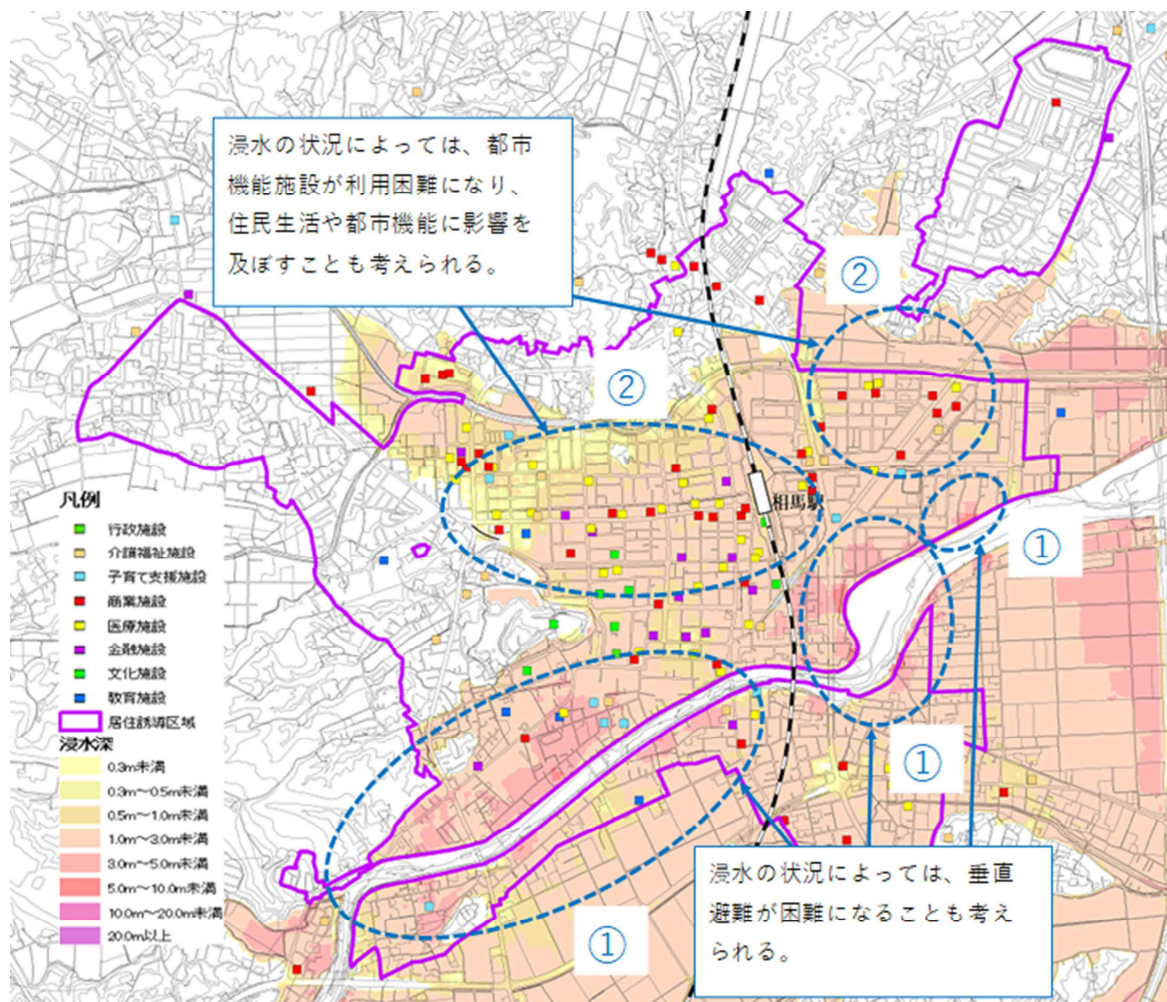


図 73 防災上の課題

表 26 防災上の課題

災害	No	課題
洪水	①	浸水の状況によっては、垂直避難が困難になることも考えられる。
	②	浸水の状況によっては、都市機能施設が利用困難になり、住民生活や都市機能に影響を及ぼすことも考えられる。

第4節 防災まちづくりの将来像、取組方針

1. 防災まちづくりの将来像

前項で課題を整理したとおり、居住誘導区域内において洪水による浸水が想定されています。そのため、本計画では、各種の対策を講じて災害リスクの軽減を図ることにより、地域住民と安全・安心なまちづくりを目指していきます。

2. 取組方針

防災まちづくりの実現に向けて、取組方針を以下のとおりとし、災害リスクの軽減に努めます。

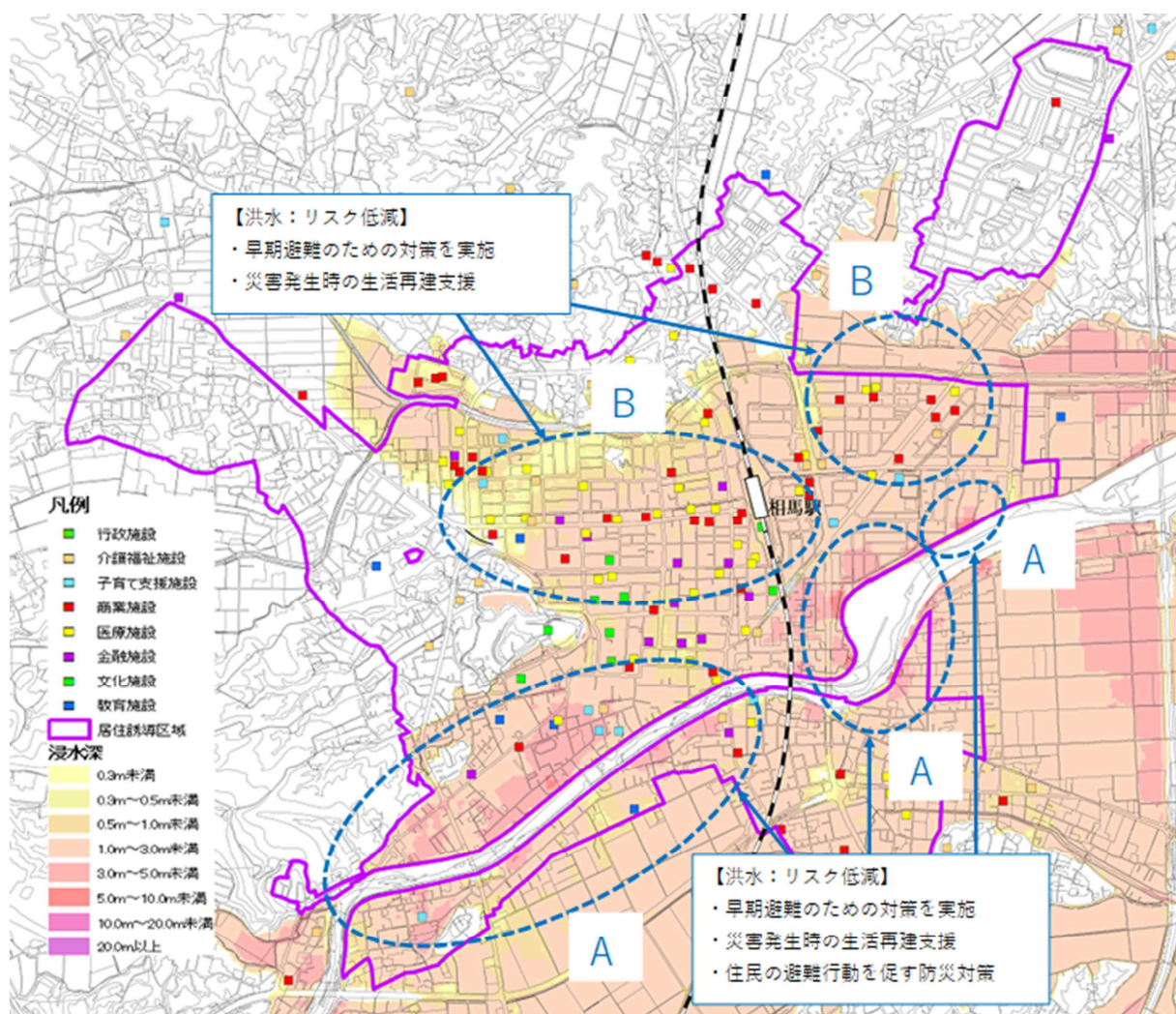


図 74 取組方針

表 27 取組方針

エリア	災害	課題	リスクの低減/回避	方針
A	洪水	・ 垂直避難が困難な住居が存在 ・ 住民生活に支障が出るおそれ ・ 要援護者等、避難行動にリスク	低減	・ 早期避難のための対策を実施 ・ 災害発生時の生活再建支援 ・ 住民の避難行動を促す防災対策
B	洪水	・ 垂直避難が困難な住居が存在 ・ 住民生活に支障が出るおそれ	低減	・ 早期避難のための対策を実施 ・ 災害発生時の生活再建支援

第5節 具体的な取組、スケジュール、目標値

1. 防災に関する具体的な取組とスケジュール

取組方針に基づく具体的な取組とスケジュールを以下のとおりとします。

表28 具体的な取組とスケジュール

取組区分	リスク対策	ハード・ソフト	具体的な対策	実施エリア	実施・整備主体	実施時期		
			具体的な取組			短期（5年）	中期（10年）	長期（20年）
流域治水対策（河川等の整備）	低減	ハード	河川改修					
	低減	ハード	河道掘削	A	福島県 相双建設事務所			
	低減	ハード	堤防天端舗装	A	福島県 相双建設事務所			
	低減	ハード	被害軽減、早期復旧・復興					
	低減	ハード	危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置	A	福島県 相双建設事務所			
	低減	ハード	排水機場による排水作業	A	相馬市			
	低減	ハード	大型排水ポンプ車による排水作業	A	相馬市			
	低減	ソフト	洪水浸水想定区域図の公表	A～B	福島県 相双建設事務所			
建築物対策（高層化）	低減	ハード	土地・家屋の嵩上げ	A～B	市民 事業者			
避難所・体制の整備	低減	ソフト	食料等の備蓄強化					
	低減	ソフト	非常用食料・飲料水の備蓄、食料調達協力体制整備	A～B	相馬市			
	低減	ソフト	生活物資の備蓄、物資調達協力体制整備	A～B	相馬市			
	低減	ソフト	市民の自主的な備蓄の推進	A～B	自主防災組織、事業者、市民			
	低減	ソフト	災害時の情報発信強化					
	低減	ソフト	防災カメラによる河川遠隔監視等	A～B	相馬市			
	低減	ソフト	情報伝達体制・避難体制の周知徹底	A～B	相馬市			
地域防災力の向上	低減	ソフト	避難経路の随時更新	A～B	相馬市			
	低減	ソフト	住民による地域防災マップの作成	A～B	自主防災組織			
災害リスクの研究・周知	低減	ソフト	防災メール等情報伝達手段の強化	A～B	相馬市			
	低減	ソフト	ハザードマップの作成・周知徹底	A～B	相馬市			

2. 目標値の設定

本計画において、防災指針の目標値は以下のとおりとします。

表 29 防災指針の目標値

指標	定義	基準値（現状値）	目標値
避難訓練の実施	市が実施する避難訓練の回数	1 回/年	1 回/年 以上
ハザードマップの更新	小泉川・宇多川の洪水浸水想定区域が見直された場合、ハザードマップを更新	県報公告後 更新	県報公告 翌年度更新
自主防災組織数	組織されている地域の自主防災組織数	74組織	76組織
啓蒙活動の実施	防災対策について、市の広報等へ掲載する回数	4 回/年	4 回/年 以上